

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 5 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2001-254277 (P2001-254277A)

【公開日】平成 13 年 9 月 21 日 (2001.9.21)

【出願番号】特願 2000-66355 (P2000-66355)

【国際特許分類第 7 版】

D 0 6 M 23/14

A 4 7 L 13/16

【F I】

D 0 6 M 23/14

A 4 7 L 13/16 A

A 4 7 L 13/16 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 8 日 (2005.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

例えば、特許第 9 8 2 2 3 6 号 (特公昭 5 4 - 9 2 2 8 号公報) では、熱軟化性フィラメント形成組成物を加熱ロールと織布又は不織布などの多孔性シートとの間に重ね合わせ、加熱ロール表面に該熱軟化性フィラメント形成組成物の粘着を生じさせ、多孔性シートを加熱ロールから引き離すことでパイルを形成するパイル表面付きシートの製法が提案されている。このようなパイル表面付きシートはパイル部分が摩擦されると静電気を帯びるため、塵埃等を静電気吸着することで効率的な塵埃等の保持が期待できる。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 8】

本発明の別のダストクロスは、シート状物の表面に熱可塑性樹脂からなるパイルが形成されたダストクロスで、次のような性能を有するパイル千切れが少ないものである。つまり、ダストクロスから 5 c m × 1 0 c m の試料をとり、試料の重量を (A) g、試料のパイル側全面に粘着テープを 1 回貼付して剥離させた後の試料の重量を (B) g とした時、下記の式 (1) および (2) で示される性能を有する。

(1) : (A) - (B) < 0 . 0 1 g

(2) : (B) / (A) > 0 . 9 8

より好ましくは、(A) - (B) が 0 . 0 0 8 5 g 以下、(B) / (A) が 0 . 9 8 5 以上である。